

## 5月24日のファンド基準価額の下落について

2012年5月24日

当社公募投信のうち、以下のファンドの基準価額が5%以上下落していますのでお知らせいたします。

回次コード	5月24日 下落率5%以上のファンド	基準価額	前日比	前日比騰落率
4778	ダイワ・ロシア株ファンド	6,005 円	-326 円	-5.1%

※前日比騰落率は収益分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして修正した価額の騰落率です。

◆以下に主な基準価額変動要因となった市況環境について掲載します。

5月23日(現地)のロシア株式市場は、RTS指数(米ドル建て)で▲4.4%、ロンドン上場のDR(預託証券)で構成されているロシアDR指数で▲5.1%の下落となりました。

ギリシャのパパデモス前首相がギリシャのユーロ離脱を示唆する発言をしたことや、EU(欧州連合)非公式首脳会議においてギリシャの債務危機対策として新たに具体的な措置が導入される可能性は低いとの見方が強まったことで、投資家のリスク回避の動きが加速したことから、ロシア株式市場は下落しました。

また、米週間在庫統計において原油在庫が増加したことや、IAEA(国際原子力機関)とイランが査察受け入れで合意したことにより中東での地政学リスクが緩和されたことで、原油価格が下落したことも、ロシア株式市場にとってマイナス材料となりました。

セクター別では、ロシアのプーチン大統領が電力会社を戦略的企業と位置づけたことに伴い、今後の民営化プロセスの進展に対して悲観的な見方が広がったことで、公益事業セクターの下落幅が拡大しました。

為替市場では、新興国通貨から安全資産へシフトするリスク回避の動きが加速し、ロシア・ルーブルは、対米ドル・対円ともに下落し、基準価額に対するマイナス要因となりました。

以上

## 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## ダイワ・ロシア株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## ファンドの特色

主としてロシアの株式(※)の中から、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。(※)株式：DR(預託証券)、米ドル建ての株式等を含みますので、投資対象国以外の通貨の為替リスクが発生する場合があります。運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。(a) 業績動向、流動性等により銘柄の定量分析を行ない、投資対象銘柄を決定します。(b) 財務内容、経営陣の評価、セクター内の競争力、バリュエーション、利益成長等に着目し、買付候補銘柄を決定します。(c) ポートフォリオの構築においては、業種分散、銘柄分散を考慮します。実質的な運用は、マザーファンドの受益証券に投資することにより行ないます。マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託します。マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることを基本とします。保有実質外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

## ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、主にロシアの株式(DR(預託証券)、米ドル建ての株式等を含みます。)を実質的な投資対象としますので、株価の下落により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、株式の発行企業の経営不安、倒産等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。**したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。投資信託は預貯金とは異なります。**

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価の変動リスク」、「信用リスク」、「為替リスク」などが考えられます。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

詳細な内容については、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」に記載しておりますのでご確認ください。

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	販売会社が別に定めるものとします。 購入時の申込手数料の料率の上限は、 <b>3.15%(税抜 3.0%)</b> です。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に対して <b>年率 1.764%(税抜 1.68%)</b> ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

**大和証券**  
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会 日本証券業協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

**大和投資信託**  
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 社団法人投資信託協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会